



ハイライトよねやま 175

2014年10月10日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 米山月間へのご協力をお願いします —

9月までの寄付金は前年同期と比べて13.1%増（普通寄付金3.7%増、特別寄付金26.3%増）、約4,490万円の増加となりました。これは、2002年度以降、直近13年間で過去最高額です。好調の要因として、地区ガバナーや地区米山奨学委員長への支援の気持ちなどから、多くの高額寄付をいただいた結果です。心より厚く御礼申し上げます。10月は米山月間です。先月に引き続き、今月も皆様からのご協力をよろしくお願いいたします。

GETS・ガバナーエレクトセミナー報告

GETS (Governor Elect Training Seminar)

ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）が9月2～3日、都内で開催され、3日午前のセッション「ロータリー米山記念奨学会プログラム」において、板橋敏雄理事長（当時）が7年間の在任中のご支援への感謝とともに、奨学事業の現況報告を行いました。また同日午後、配偶者同席の全体会議「ロータリー学友からのメッセージ」セッションでは、米山学友を代表して、よねやま親善大使の尤銘煌さんと楊小平さんがそれぞれスピーチを行いました。



よねやま親善大使の二人から感謝のスピーチ

2015-16年度ガバナー米山記念奨学事業セミナー

翌4日には、当会主催のガバナーエレクトセミナーを開催。午前のセッションでは、北清治RI理事から基調講演を頂きました。「この事業の歴史的背景や素晴らしさは、常々実感し納得している。それを皆さんと一緒に確認したい」と、北RI理事は“ハイライトよねやま”バックナンバーを利用しながら事業のあゆみを紹介。「誇りと自信を持って、この米山記念奨学事業にも大きな貢献をしていただきたい」とガバナーエレクトにエールを送りました。



北RI理事による基調講演

また午後のセッションでは、「よねやま親善大使に聞く10の質問」「米山奨学事業での心に残る体験（ロータリーモーメント）卓話」に続いて、グループディスカッションを行いました。特に、グループディスカッションは「米山奨学事業の課題を検討できた」「各地区の問題点、悩みなどを具体的に聞いて良かった」と好評でした。お忙しい中、セミナーにご参加いただいたガバナーエレクトの皆さまに、心から感謝申し上げます。



初披露のYONEYAMA体操でリフレッシュ



三井章義常務理事からの心温まる卓話



グループに分かれて真剣にディスカッション

米山奨学生・学友が敬老会に参加【第 2770 地区】

第 2770 地区（埼玉県南東部）の奨学生・学友 26 人が 9 月 14 日、越谷市にある社会福祉法人大吉会が運営する介護老人福祉施設、「キャンベルホーム」の敬老会に参加しました。これは、同地区米山奨学委員会による恒例行事で、司会進行・アトラクション・事前準備などすべてを米山奨学生が考えて実施。自国の民族衣装を紹介したり、歌や踊りを披露し、最後に全員で「ふるさと」を合唱して、高齢者の方々との交流を図りました。



参加した奨学生からは、「母国の祖父母を思い出し、親しみを感じました。またぜひ参加したい」「小さなことでも大変喜んでくださったので、もっと準備すればよかったと反省。貴重な経験をさせてくださったロータリアンの皆さんに感謝しています」などの感想が寄せられました。斎藤順彦同地区米山奨学委員長は、「短い時間でしたが、奨学生は奉仕を通じ、ロータリーの理念をより一層理解してくれたものと思います。このような機会を与えてくださった大吉会理事長の井橋吉一パストガバナーをはじめ、同施設の関係者の皆さまに心より御礼申し上げます」と、述べました。

さまざまな寄付のカタチ — カウンセラーとして —

第 2750 地区 東京成城新 RC 会員の加藤イサム氏から、昨年度、今年度と 2 年連続で毎年 100 万円以上の高額寄付をいただき、これまでの寄付と合わせて第 25 回米山功労者となられました。これほど多額の支援をする理由には、韓国出身の米山奨学生・禹昊穎^{ウデヨン}さんのカウンセラーを務める間に奨学生採用数が 800 人から 700 人へ縮減された現状を憂慮し、カウンセラーとして少しでも協力したいとの思いがある、と語ってくださいました。



加藤イサム氏のコメント

初めて米山奨学生のカウンセラーを引き受けました。これまで人のために役立つことをあまりしてこなかったのが、一念発起しました。交流する中で、生活習慣や文化の違いを感じることもありましたが、それも含めていい経験でした。禹くんは真面目で素直な学生で、地区大会では奨学生を代表してスピーチを任されるほど優秀でした。母国で日本語を教える先生となって懸け橋になりたいという彼の夢を応援できたことが喜びでありました。米山記念奨学事業は、ロータリーが目指す世界平和に貢献する事業であると確信しています。

10 月は 米 山 月 間

10 月の米山月間にお使いいただける資料を 9 月下旬に全クラブへ送付しました。お手元に届きましたか？これらの資料を活用するほか、奨学生・学友による卓話の機会を作ってください、米山記念奨学事業への理解を深める月間にしていただきますよう、お願いいたします。

➤ 事業紹介 DVD 各種あります。無料。HP で試聴できます

➤ 『豆辞典』をテキストに、解説用パワーポイント(当会 HP からダウンロード可)を使って卓話

➤ 現役奨学生・学友による卓話で生の声を聞く

こんな例会は
いかがですか？